

2025-26年度 加藤会長テーマ -世のため、人のため-

第3209回例会 令和8年3月24日(火) 天気:晴 No. 26



会長 / 加藤 典男 幹事 / 本多 淳

クラブ会報委員 谷崎直樹 / 羽佐田芳和 / 神谷明

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <https://www.nishio-rotary.org>

2025-2026 年度

RI テーマ

**よいことの
ために
手を取りあおう**

【本日のプログラム】

司 会 杉浦竜基例会運営委員長 斉 唱 「奉仕の理想」
 スピーカー 日本電気株式会社 サイバーセキュリティ事業統括部
 プロフェッショナル 半貫 貴久 氏
 『サイバーセキュリティ対策』
 「企業活動を人質にするサイバー攻撃に遭わないために」
 食 事 あかりい菜



【会長挨拶】



最近、ドナルド・トランプ氏の影響もあってか、株価が大きく上下しています。証券会社にとっては好機かもしれませんが、初心者にとってはなかなか厳しい状況です。下がったと思って買えばさらに下がり、上がったと安心したところで急落する。頭では「今が買い場」と分かっているのに、すでに資金を使ってしまい動けない。借りてまで投資するわけにもいかず、結局は見送るしかない。この繰り返しで、「自分は一生儲からないのではないか」と感じてしまうものです。そうすると腹も立ち、なかなか寝つけません。

そこでおすすめなのが「4-7-8呼吸法」です。これはアンドルー・ワイル博士が提唱した方法で、いわば天然の精神安定剤です。やり方は簡単で、鼻から4秒吸い、7秒止め、口から8秒かけて吐く、これを繰り返すだけです。実際にやると2~3回で「もういいか」と思い、そのまま眠ってしまうことが多いです。呼吸に集中することで余計なことを考えず、自然とリラックスできます。

株価の先行きは不透明ですが、ここまで下がればあとは上がるかと考えるしかありません。焦らず無理をせず、まずはしっかり休む。この呼吸法で眠りながら、相場の回復を待つことが現実的な対応ではないでしょうか。

【委員会報告】

〈出席委員会〉 岩瀬 淳治委員長

本日の出席数 55名
 欠席数 14名
 出席率 79.71%

〈スマイルボックス委員会〉 辻村 敏晃委員長

加藤典男君 本日はNEC様御一行よろしくお願ひします。ロータリーの卓話に3名もお越しいただきました。さすが世界企業。

本多 淳君 NECの皆様、本日はよろしくお願ひします。親睦活動委員会の皆様、先日はありがとうございました。

加藤 浩君 本日は西尾信用金庫のメインバンダーであるNECさんのサイバーセキュリティ担当をお招き致しました。半貫さん、宜しくお願ひ致します。



杉浦竜基君 先日の会長杯ゴルフ大会で、たいした事のないスコアにもかかわらず、優勝する事ができました。会長、幹事、一緒に回ったメンバーはじめ、皆様には大変お世話になりました。すばらしいゴルフ日和でとても良い一日になりました。

浅岡直幸君 先日の会長杯にて準優勝しました。当然賞金は全額子ども食堂へ。明日の春休み子ども食堂、皆様宜しくお願ひ致します。

永江義澄君 会長杯、5位で会長賞カニをいただきました。ありがとうございました。

傍嶋 茂君 会長杯ゴルフコンペで前回に引き続き、幹事賞を頂きました。次回北海道もがんばります。

杉田明弘君 先日は、賞品はなくても会長杯ゴルフを楽しませていただきました。

石川竜司君 先日の会長杯、たくさんの方に参加頂き大変ありがとうございました。懇親会も大変盛り上がりましたが、少し、はめを外しすぎたのが反省であります。申し訳ありませんでした。今後ともよろしく願います。

犬塚富雄君 先週結婚記念日のお花が届きました。ありがとうございました。

鳥居祥雄君 結婚記念日のお花いただきました。今回は枯らさず、水を忘れない様になります。

尾崎隆爾君 毎回ロータリーの例会を楽しみにしています。これからも頑張ってお出しますので宜しくお願い下さい。

二宮英樹君 バッジを入れたまま、車を点検に出してしまいました。

山崎克弥君 先日、新横浜駅でドクターイエローを見ました。

三宅千鶴君 永江さん、小澤さん、いつもコーヒーありがとうございます。

稲垣良次君 この連休で“0泊4日”で広島観音マリーナまでヨットJOKERでクルージングしました。帰りは5月のゴールデンウィークで瀬戸内海の島々をまわり、1週間かけて蒲郡ラグーナまで帰ります。

杉浦義浩君 当社運営の「学習サポートYAMAYO」「レンタルスペースKiitos」が西尾商工会議所の「頑張る店賞」を受賞しました。

〔卓話〕 日本電気株式会社 サイバーセキュリティ事業統括部 プロフェッショナル 半貫 貴久 氏 『サイバーセキュリティ対策』 「企業活動を人質にするサイバー攻撃に遭わないために」



本日は「企業活動を人質にするサイバー攻撃から守るために」というテーマでお話しさせていただきます。昨今、サイバー攻撃は高度化・巧妙化しており、特にランサムウェアによる被害が深刻化しています。医療機関や大手企業でのインシデントが社会問題となったこともあり、決して他人事ではありません。

まずセキュリティの動向ですが、従来の境界防御から「ゼロトラスト」へと移行しています。これまでは社内ネットワークを前提に守っていましたが、クラウドやテレワークの普及により、どこからでもアクセスできる環境になりました。そのため、場所に関係なく毎回認証を行い、信頼性を確認することが重要になっています。データやシステムが分散し、守るべき範囲も広がっているのが現状です。

リスクの面では、ランサムウェア被害が急増し、企業規模を問わず広がっています。侵入経路の多くはVPN機器の脆弱性などで、テレワーク環境が狙われやすい傾向があります。被害にあうと、長期間の業務停止や多額の損失につながり、影響は取引先にも及びます。

ランサムウェアは、システムを暗号化して使用不能にし、身代金を要求するマルウェアです。近年はデータを窃取し公開を脅すなど、手口も悪質化しています。攻撃は情報収集から侵入、横展開、暗号化へと段階的に進むため、広範囲での対策が必要です。

対策としては、まず身代金を支払わないことが重要です。支払っても復旧は保証されず、犯罪の資金源となります。また、バックアップはシステムと分離した環境で保管し、復旧訓練を行うことが必要です。

弊社では「侵入させない・実行させない・漏えいさせない・拡散させない・迅速な復旧・弱点克服・人材育成」の7つを重視しています。特に人材教育と脆弱性対策が重要で、システム更新や従業員の訓練を徹底することで、多くの被害は防ぐことができます。

最後に、サイバー対策はBCPの観点で継続的に取り組むことが重要です。技術だけでなく、人と運用を含めた総合的な対策を進めることで、企業活動を守ることに繋がります。

3/25(水)春休み子ども食堂(贈呈式)

